

## 「2021年度普及大会開催ガイドライン」

### 1. 「目的」

「2021年度普及大会開催ガイドライン（以下、「本ガイドライン」という）」は、コロナ禍における2021年度の普及大会（主に中学生以下の選手が参加する非興行大会）を対象にした開催に関する考え方や留意点を示すものとして位置付け、参加者の感染予防、安全対策に努めることを目的とする。

### 2. 「対象大会」

大会とは、日本協会、関東・関西・九州の三支部協会、都道府県協会等が行う主に中学生以下を対象とした非興行大会（全国大会、予選大会、交流大会、大会に関連する活動等の）をいう。

### 3. 「期間」

期間は本年度末（2021年5月から2022年3月まで）として、事態が変化した場合には、別途、検討の上、関係者に通知する。

### 4. 「原則」

感染リスクが高まる「5つの場面」など「三つの密」を回避すること、マスクの適切な着用、手洗いの実施等についても、留意して頂くとともに、「ラグビートレーニング再開のガイドライン」にも記載してある下記4点について、確認をし、開催を検討する。

- 活動が選手、選手の家族、関係者、地域社会における感染拡大につながらないこと
- 活動が地域社会のCOVID-19対応資源に負担をかけるものではないこと
- ラグビーの価値を大切に活動を実施していくこと
- COVID-19対応を含め、「安全」が最重要事項であることをプレーヤーだけでなく、関係者全員が認識して、ラグビーに取り組むこと

### 5. 「実施判断」

実施にあたっては、開催地の都道府県、市町村の方針に従うことが大前提であり、判断に迷う際は、開催地のスポーツ主管課や衛生部局等への相談をする。選手の参加については、教育委員会や学校の方針に従う。また、活動自粛明けなど、選手のコンディションには十分に配慮をし、安全にプレーできるのかを検討した上で実施判断をする。

#### 判断する者

各イベントを主催するラグビーフットボール協会等にて判断する。

(具体例)

- ・ チーム間での大会 ➤ 該当チーム
- ・ 都道府県での大会 ➤ 該当都道府県協会、
- ・ 地域単位での大会 ➤ 関東・関西・九州の三支部協会
- ・ 全国的な大会 ➤ 日本協会

## 6. 「実施方法」

前項 4、5 で大会の実施を該当協会が判断した場合は、JRFU の定める「JRFU 大会開催プログラム」や感染予防等、安全対策に関する通知・通達を基準として、以下の項目を考慮し大会のごとに感染拡大防止のガイドラインを定める。

但し、状況が悪化した場合は直ちに中止を含む判断を行うよう心掛ける。

### 1) 無観客

- ・ COVID-19 新型コロナウイルス感染対策として、原則として無観客で実施する。但し、政府、自治体等によりイベント開催のガイドラインが示されており、それと照らし合わせ、有観客での開催が可能と判断される場合はこの限りではない。
- ・ 引率者について…選手が未成年であることから、安全対策等の観点から、引率が必要と認められる場合については、人数を制限した上で観戦を認める場合がある。その場合、健康チェックや連絡先の確保の徹底や、移動における注意点、観戦場所の管理などが求められる。

### 2) 最低限の参加者

- ・ 引率者を含む全ての選手、役員等が必要最小限とするよう努める。
- ・ (確認) 行事の参加者は最低限にとどめ、不要な者の参加を制限する。

### 3) 近距離者による運営

- ・ 可能な限り、長距離での異動や宿泊を回避するため、役員、レフリー等を含め、開催場所から近距離に居住している者等での開催に努める。

### 4) 健康管理の徹底

- ・ 全参加者は、期日(大会初日のおおよそ 10 日前)までに登録した上で、選手と同様に日々、健康調査票を提出し、主催協会は参加者の健康調査の徹底と参加者が特定でき、連絡が取れるよう管理する。

### 5) 感染予防の徹底

#### ① マスク着用・三密回避

- ・ 全参加者は、会場までの来場、移動、宿泊、待機時間等は、常にマスクの着用、食事は個食、又は黙食を徹底し、いかなる場面でも三密回避を徹底する。
- ・ マスク着用時においても、大きな声を出しての指示、声援は慎む。

#### ② 出入りの管理・導線確保と除菌 (各自での準備)

- ・ 会場は出入口を別にして参加者が交差しないように導線を確保する。
- ・ 入退場の確認を徹底し、登録者以外の第三者が参加しないよう管理する。

- ・ 入場退場時には消毒、或いは手洗いを徹底と確認を行う。なお、この場合、参加者は常に除菌剤を携行するよう指導する。
- ③ ロッカー・荷物
- ・ 天候が許す限り、ロッカーの使用は控え、着替え時も三密が起きないように配慮する。その際も除菌を徹底し、荷物は各自で取り扱い、他者に管理を任せない。
- ④ 用具・用品（含む飲料）
- ・ 試合に際しては、使用するボールやフラッグ等の用具の除菌を定期的実施する。
  - ・ 参加者は各自飲料を準備して、チームや参加者においては飲料等の共有は不可とする。

## 7. 「大会の縮小・分散・中止」

計画した形式での実施が難しいと判断する場合は、縮小、分散など、開催形式の変更を検討した上で、最終的には中止の可能性も検討する。

## 8. 「JRFU 主催大会に係る今年度の特例措置（中学生）」

中学生カテゴリーにおいて、前 5. 7. で、JRFU 主催の大会に係る予選に該当する都道府県協会主催大会、及び三支部協会主催大会が、縮小、分散等の措置をとって実施、或いは中止した場合は以下の措置とする。

○該当試合や大会が開催できないか、縮小、分散する場合は、当該主催協会において、その時点で次戦への出場権利を有しており、且つ次戦への出場を希望するチームを対象に推薦あるいは抽選など（含むその他の合理的方法）にて次戦・次大会への出場を決定する。

以 上

<参考資料>

- ・日本協会主催大会再開プログラム **\*日本協会主催大会プログラムへ変更 (2021.5.13)**

[日本協会主催大会再開プログラム | 日本ラグビーフットボール協会 | RUGBY : FOR ALL 「ノーサイドの精神」を、日本へ、世界へ。\(rugby-japan.jp\)](#)

- ・ラグビートレーニング再開のガイドライン

[\(6/19 日更新\)ラグビートレーニング再開のガイドライン | 日本ラグビーフットボール協会 | RUGBY : FOR ALL 「ノーサイドの精神」を、日本へ、世界へ。\(rugby-japan.jp\)](#)

- ・体験会開催における留意点

<https://www.jrfucoach.com/%E4%BD%93%E9%A8%93%E4%BC%9A%E9%96%8B%E5%82%AC%E7%AD%89-%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E7%95%99%E6%84%8F%E7%82%B9/>

- ・緊急事態宣言下におけるラグビー活動について

[\(通達\) 緊急事態宣言下におけるラグビー活動について | 日本ラグビーフットボール協会 | RUGBY : FOR ALL 「ノーサイドの精神」を、日本へ、世界へ。\(rugby-japan.jp\)](#)

- ・トップリーグ 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン

[https://www.top-league.jp/wp-content/uploads/2021/04/TL2021-guidelines-covid19\\_4th.pdf](https://www.top-league.jp/wp-content/uploads/2021/04/TL2021-guidelines-covid19_4th.pdf)